

看護あきた

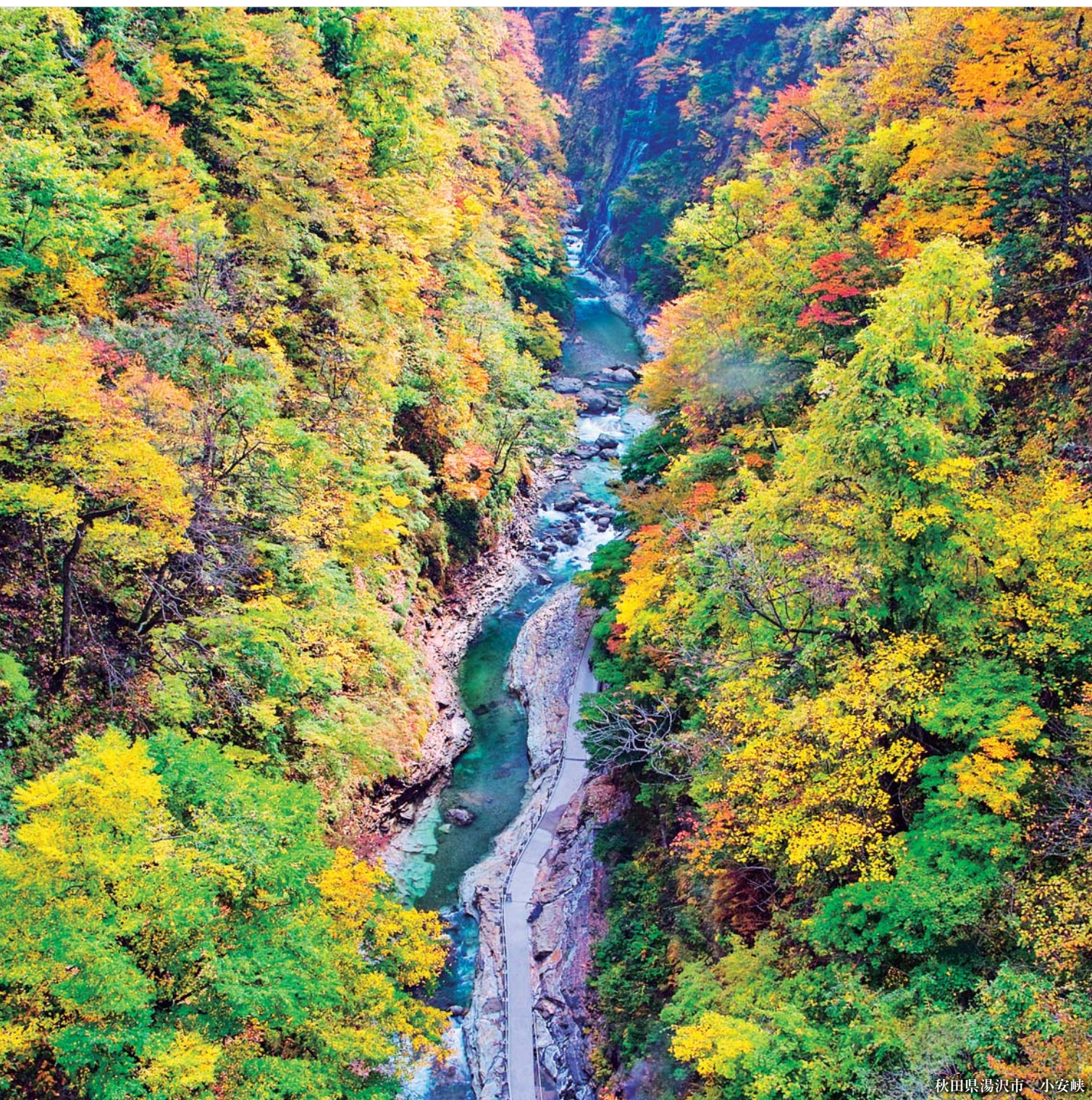
Nursing Akita

Vol. 133

平成30年度 2号
公益社団法人 秋田県看護協会会報

CONTENTS

シリーズ 施設自慢……………	1
新人ナース紹介……………	2
地区支部活動報告……………	3
理事会だより・安全情報……………	5
創立70周年記念式典並びに祝賀会・ 事務局からのお知らせ……………	6



秋田県湯沢市 小安峡

施|設|自|慢



■ 秋田労災病院

看護部長 高橋 カチ子

秋田労災病院は大館市の東南部、米代川沿いの桜・秋の紅葉が美しい大滝温泉にあります。昭和28年12月に内科、外科、整形外科の3診療科と病床数20床で診療を開始して、今年で創立65周年を迎えます。現建物は平成5年3月に完成しました。清潔、温もり、落ち着きを感じさせ、山の緑に映えるようにと色調に拘り山桜色にしたとのこと。築25年経過しましたが、色褪せることなく、今も緑の中にシックな山桜色が映えています。

理念は「勤労者や地域の人々の健康増進と疾病の予防、治療に取り組み、患者様の人権を尊重し、あたたかく、思いやりのある安全な医療を提供します。」です。地域住民に良質な医療を提供し、臨床研究で治療と予防の質の改善に寄与する学術的成果を得ることを社会的使命とし「地域医療を基盤とした勤労者医療」、「勤労者の疾病予防や治療に関する臨床研究」、「職場復帰を目指す治療両立支援」、「地域包括ケアにおける健康増進事業」に取り組んでいます。

特色は、急性期医療とそれに続く回復期リハビリテー

ション医療と維持期医療の三つの機能を有することです。三つの機能により継続した医療で社会復帰を支援しています。今後も院内、医療機関、地域との連携を強化し勤労者医療と地域医療に貢献していきます。

平成30年5月より脊椎脊髄損傷、頸髄症、パーキンソン病、脳梗塞後遺症などの難治性神経疾患に対する特殊外来診療を開始しています。最新のロボット型の器械を利用する画期的なリハビリテーションで治療効果が期待されています。また、近日中に脊髄損傷などに対して神経細胞の移植も計画しており、東北地方では初めての治療となります。

癒しの一環として独自に温泉を所有し入院患者様に展望温泉浴場を提供してシナジー効果（複合効果）で療養できるようにしています。

地域包括ケア時代においても、職員全員が力を合わせ、地域のニーズに柔軟に対応してまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

新人ナース紹介



秋田大学医学部附属病院
福岡 佳奈さん

看護師となり、耳鼻咽喉科・呼吸器内科病棟に勤務して4か月が経ち、多くのことを経験し充実した日々を過ごしています。

勤務し初めの頃、患者さんから「不安な看護師さんです。」と言われ、とても悲しく落ち込みました。自分の行動を振り返ると、患者さんを十分に理解していなかったことに気づきました。それからは、疾患や薬の学習、研修を通して知識を習得し、先輩に相談・指導を受けアセスメント能力を磨く努力をしました。そして、患者さんの状況に合わせた関わりをして、より一層患者さんとのコミュニケーションを大切にしました。その後、同じ患者さんから「私のことを考えてくれてありがとう。」と言っていただきました。自分の看護が患者さんに与える影響がとても大きいことを実感しています。

今後も患者さんに安心感を持っていただけるよう、より良いケアが提供できるよう努力していきます。



男鹿みなと市民病院
佐々木聖那さん

入職して早半年が経ちました。内科の病棟で勤務しており、様々な疾患の患者さんがいます。高齢者の方がほとんどですが胃瘻を造設している方、呼吸器を装着している方など状態は様々で幅広い看護を学ばせて頂いていると感じています。

プリセプターさんをはじめ病棟の全てのスタッフの方々のサポートのおかげで少しずつ職場と業務に慣れ、日々を過ごすことでできています。限られた時間の中で複数の患者さんの全体像を知り、必要な看護、優先順位を考えた時間管理などに難しさを感じつつ先輩方にアドバイスして頂きながら実践できるように取り組んでいます。

今はまだ知識も経験も少なく未熟ですが、検査や処置など積極的に経験したり自分で理解できるように学ぶ姿勢を忘れずに頑張っていきたいです。そして看護師としての責任をもち、患者さんとの関わりを大切にして日々成長していきたいです。



市立大森病院
川崎 莉奈さん

急性期病棟に入職してから4ヶ月が経ちました。日々患者さんに関わらせていただき目標であった看護師になれたという実感が湧き、「ありがとう」と

声をかけられると力になったことの嬉しさとこれから更に頑張ろうと励みになっています。業務に関しては学生の頃は見学させてもらっていた処置や検査、初めて見聞きすることが多く改めて看護師の業務の多さに驚きました。初めのうちは戸惑いや緊張、覚えられるかなど不安な事も多々ありましたが、先輩方に一つ一つ教えていただきながら少しずつ覚えて実施できることも増えてきました。しかし実施に時間がかかることも多いため、時間を意識して取り組んで行くことが必要だと感じています。

また、薬や疾患、技術の知識がまだまだ不足しているため、安全な医療を提供するためにも分からない薬や疾患があったらその都度調べ、知識を深め身につけていきたいと思います。また、患者さんから疑問の声があったときには答え、少しでも抱えている不安を解消しサポートできるようにしていきたいと思っています。



町立羽後病院
高橋 環さん

いったんは諦めた「看護の道」でしたが、どうしてもその夢が心の片隅から消えずに勉強をし直し、今年の春から「看護師の仲間入り」となりました。毎日不安と緊張の連続ですがプリセプターの先輩をはじめ病棟の先輩、看護補助者、薬剤師、検査技師など他職種の方から「大丈夫?」「困っていない?」と常に声をかけていただき、丁寧に指導をいただきながら少しずつ業務や環境に慣れてきたと感じています。患者さんから「ありがとう」「制服が似合ってきたね」と声をかけていただくこともあり「看護師」として働くことの責任と嬉しさも感じています。

患者さんやそのご家族は入院することで生活環境、生活スタイルが変化します。検査や手術についての疑問や不安を軽減するためには、自分に知識がないと対応できないこと、観察ポイントやケアの仕方がわからないと変化に気づくことが出来ず患者さんに苦痛を与えてしまうなど、日々現場の実践を通して学ぶことが多くあります。

「看」は「手と目」でできています。患者さんに触れる手から患者さんの不安を軽減し、観察する目で苦痛を和らげるケアが出来る看護師を目指して頑張りたいと思っています。

地区支部 活動報告



鹿角 地区支部

鹿角地区支部 支部長 木村 陽子

まちの保健室

6月9日小坂町のアカシアまつり会場にて開催しました。看護を地域住民に還元する目的に血圧測定、体脂肪率測定を実施しました。測定結果や心配事にあわせパンフレットを用いて健康管理指導や減塩用のドレッシング・練（梅、味噌、海苔）のサンプルの提供をしました。同地区での開催は2度目で来場者から来年も訪れたいという声も聞かれ活動のPRができました。



ふれあい看護体験

7月25日鹿角市内の2校から24名の学生を対象に一日看護学生事業「ふれあい看護体験」を実施しました。手術室見学では鏡視下手術模擬体験を実施しました。実際に機器に触れ緊張しながらも真剣な表情で操作する様子が印象的でした。院内見学では「多職種とのチーム医療で患者さんを支えていることを学んだ」などの感想が聞かれました。昨年より男子学生の参加が増え、将来の目標にむけ男性看護師の体験談を興味深く聞き質問も積極的に聞かれました。



秋田臨海 地区支部

秋田臨海地区支部 支部長 成田 睦子

地区支部研修会

7月13日(金)「看護倫理：意思決定プロセスを支えるナースの役割」と題し、北海道医療大学名誉教授の石垣靖子氏の講演会を開催しました。80名定員でしたが最終的には156名の参加を受け入れました。講師は、看護職には誠意あるコミュニケーション(対話)の定着が重要であり、「その人」をわかろうとする姿勢つまり、一緒に考え悩むことが意思決定の倫理的妥当性を担保することにつながると説かれました。「病む人の人生に深く関わり、その人の人生が変わり、自分の人生も変わるという体験を繰り返す、誇り高き職業である」とエールを送られ、心が浄化される思いを共有しました。



ふれあい看護体験

8月初旬4日間、秋田市内の4施設において実施されました。中学生60名(秋田厚生医療センター、市立秋田総合病院)、高校生60名(秋田赤十字病院、中通総合病院)が充実した一日を過ごし、生徒の一人は「看護職は人に対して愛ある対応が最も大切」と感想を述べ、看護職への関心と理解を深める機会となりました。



湯沢・雄勝 地区支部

湯沢・雄勝地区支部 支部長 佐藤 友子

研修会

平成30年6月27日「幸せは笑いから！笑いヨガで健康に！」をテーマに、地区内の医師を講師に開催しました。笑いヨガの歴史、笑いの効果、ユマニチュードについての説明をしながら、体を動かして笑いヨガを実践しました。参加者からは大きな笑い声が聞かれ、ストレス解消になったと好評でした。



第12回「働く車大集合&しごとの王国」へ参加

平成30年7月28・29日秋田ふるさと村において、第12回「働く車大集合&しごとの王国」が開催されました。28日に地区支部から5名が参加協力し、胎児の模型を使い赤ちゃんが生まれるまでを紹介したり、聴診器で心臓の音を聞いたり、包帯巻きや注射器体験などを行いました。入場者は2日間で9963名(昨年対比208.6%)ととても人気のあるイベントでした。



理事会だより

第1回 平成30年5月16日(水)

【議 事】

- 1) 平成30年度公益社団法人秋田県看護協会事業計画(案)について [承認]
- 2) 平成29年度公益社団法人秋田県看護協会決算報告(案)について (監査報告) [承認]
- 3) 平成30年度秋田県看護協会職能・常任委員会委員の変更について [承認]
- 4) 秋田県看護協会通常総会プログラム及び議案の確認について [承認]
- 5) 常勤役員就業規程の一部改正について [承認]
- 6) 訪問看護ステーションに係る運営規程の一部改正について [承認]
- 7) 給与規程の一部改正について [承認]
- 8) 固定資産の取得等について [承認]
- 9) 資産取得等に必要な最低額及び積立期間の変更について [承認]

【協議事項】

- 1) 日本看護協会への要望について
- 2) 平成30年度秋田県看護協会通常総会の運営について
- 3) 秋田県看護協会通常総会進行シナリオについて

【報告事項】

- 1) 平成30年度日本看護協会第1回理事会報告
- 2) 平成30年度会員数の状況について

第2回 平成30年6月19日(火)

【議 事】

- 1) 事業報告等について [承認]
- 2) 訪問看護ステーション職員業績手当の支給について [承認]
- 3) 固定資産の除却について [承認]
- 4) 訪問看護ステーションおがの事業休止及び訪問看護ステーションあきた「おが出張所」の開設について [承認]
- 5) 訪問看護ステーションあきた運営規程の一部改正について [承認]

【協議事項】

- 1) 平成30年度秋田県看護協会通常総会について
- 2) 平成30年度環境・保健事業功労者知事表彰候補者の推薦について

【報告事項】

- 1) 平成30年度日本看護協会通常総会について

第3回 平成30年6月20日(水)

【議 事】

- 1) 会長(代表理事)の選定について [承認]

- 2) 副会長等の役員の選定について [承認]
- 3) 会長臨時代理の選定について [承認]
- 4) 常務会の構成員の選任について [承認]

【協議事項】

- 1) 各理事の行事等担当について

【報告事項】

- 1) 平成30年度秋田県看護協会及び日本看護協会行事・事業日程について
- 2) 秋田県看護協会事務局組織図等について
- 3) 平成30年度ふれあい募金事業に係る社会福祉施設等の選定について

第4回 平成30年7月18日(水)

【議 事】

- 1) 平成31年度秋田県看護協会通常総会の日程(案)について [承認]
- 2) 訪問看護ステーションおがの廃止について [承認]
- 3) 平成30年度補正収支予算書(案)について [承認]
- 4) 平成30年5月大雨被害に係る見舞金について [承認]

【協議事項】

- 1) 平成30年度秋田県看護行政懇談会について
- 2) 日本看護協会への要望について
- 3) 平成30年度秋田県看護協会通常総会課題等について

【報告事項】

- 1) 会長(代表理事)の職務執行状況報告
- 2) 三職能・地区支部事業報告
- 3) 常務理事(業務執行理事)の職務執行状況報告
- 4) 会計報告
- 5) 平成30年度環境・保健事業功労者知事表彰候補者の推薦について
- 6) 平成30年度ふれあい事業社会福祉施設等贈呈先について
- 7) 理事の行事等担当について
- 8) 事務局組織図(平成30年7月1日現在)について
- 9) 子育て応援団「すこやかあきた2018」について
- 10) ①公益法人の基礎知識
②公益法人の役員の権限と義務
- 11) 平成30年7月豪雨災害について

※概要を知りたい方は、当協会ホームページ(<http://www.akita-kango.or.jp/>)をご覧ください。ホームページにアクセスできない方は、当協会にご連絡ください。

Safety Information

No.20

安全情報

与薬時の患者取り違い

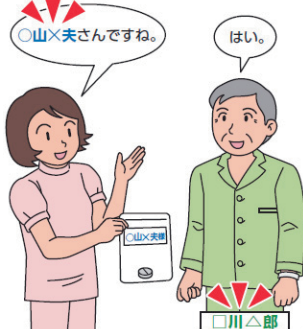
日本医療機能評価機構 医療安全情報 No.116より

与薬時、患者氏名の確認が不十分であったため、患者を取り違えた事例が6件報告されています(集計期間:2013年1月1日~2016年5月31日)。

この情報は、第42回報告書「個別のテーマの検討状況」(P129)で取り上げた内容を基に作成しました。

事例1のイメージ

看護師は、〇山×夫さんの薬を持ち、「〇山×夫さんですね」と声をかけた。患者さんは、「はい」と返答した。



患者確認の一例



事例が発生した医療機関の取り組み

- ◎与薬時、薬包などの氏名とネームバンドを照合する。
- ◎口頭で患者を確認する際は、患者にフルネームで氏名を名乗ってもらい、薬包などの氏名と照合する。

公益社団法人 秋田県看護協会

創立70周年記念式典並びに祝賀会

本会も多くの方々のご指導、ご支援により創立70周年を迎えることが出来ました。

次の通り記念式典・記念講演並びに祝賀会を開催致します。

創立70周年記念式典・記念講演

日 時：平成30年11月3日（土）午前10時

会 場：秋田ビューホテル 四階 飛翔の間

記念式典 10時～11時

記念講演 11時10分～13時

講 師：佐藤 光子氏 秋田看護福祉大学看護福祉学部看護学科 教授

テーマ：「看護職に期待する」変える勇気と変えない勇気

講 師：小牟禮 尊人氏 秋田公立美術大学 工芸美術学科 教授

テーマ：秋田でガラスの未来を託す

創立70周年記念祝賀会

日 時：平成30年11月3日（土）13時20分～15時

会 場：秋田ビューホテル 四階 光琳の間

【問い合わせ先】公益社団法人 秋田県看護協会

〒010-0874 秋田市千秋久保田町6-6 TEL：018-831-8020 FAX：018-831-8023

事務局からのお知らせ

退院調整看護師養成研修

- 開催日時：平成30年11月16日（金）9:30～15:30
- 会 場：保健センター 2階 大会議室
- テ ー マ：「退院支援と退院調整における看護師の役割」
- 方 式：パネルディスカッション、グループワーク
- 講 師：コーディネータ 秋田大学大学院医学系研究科 長岡 真希子 氏
パネリスト兼アドバイザー 順天堂大学医学部附属順天堂医院 在宅看護専門看護師 宮本 千恵美 氏
- 対 象 者：病院、施設、地域で従事している看護師
- 参 加 費：無料
- 申し込み：10月31日（水）まで随時受付可能 申込書様式Aに記入しFAXでお申し込みください。

事務局からのお知らせ

開催日時

平成30年
11/10[±]
10:00 ~ 12:00

看護職員のワーク・ライフ・バランス推進研修会(県北地区)

- 会場：湯らくの宿のしろ
- テーマ：「働き方改革」の動向と看護労働
- 講師：社会保険労務士 関 徹彌 氏
- 対象者：医療機関で働く看護管理者・医療従事者・看護スタッフ
- 参加費：無料
- 申し込み：秋田県看護協会ホームページよりダウンロードし、10月19日(金)までに秋田県ナースセンターへ直接お申し込みください。

開催日時

平成30年
11/17[±]
10:00 ~ 12:00

看護職員のワーク・ライフ・バランス推進研修会(県南地区)

- 会場：大曲エンパイヤホテル
- テーマ：「働き方改革」の動向と看護労働
- 講師：社会保険労務士 関 徹彌 氏
- 対象者：医療機関で働く看護管理者・医療従事者・看護スタッフ
- 参加費：無料
- 申し込み：秋田県看護協会ホームページよりダウンロードし、10月26日(金)までに秋田県ナースセンターへ直接お申し込みください。

開催日時

平成30年
11/17[±]
10:00 ~ 15:00

看護師職能交流会

- 会場：秋田県看護センター 5階 第1研修室
- テーマ：「看護がつながる医療と介護」
- ねらい：病院・看護施設・在宅をつなぐ切れ目のない看護・介護の連携について考えるとともに、職場を超えたネットワークづくりを図る。
- 講師：公益社団法人秋田県看護協会 前常務理事 福田 幸子
- 対象者：看護職50名
- 参加費：無料
- 申し込み：11月2日(金)

開催日時

平成30年
12/1[±]
9:30 ~ 16:00

リスクマネージャー交流会

- 会場：秋田県看護センター 5階 第1研修室
- テーマ：「コンフリクトマネジメント」
- 講師：秋田厚生医療センター 副看護部長 成田 雪美 氏
- 対象者：医療安全に関心のある従事者
- 参加費：無料
- 申し込み：11月16日(金)

開催日時

平成31年
2/8^金
13:00 ~ 16:00

看護職員のワーク・ライフ・バランス推進研修会Ⅱ

- 会場：にぎわい交流館AU 4階 第1・2研修室
- テーマ：就労環境改善のための看護業務の見直し—PNS導入の効果と課題—
- 講師：県立宮古病院看護部長 村木 淳子 氏
- 対象者：医療機関で働く看護管理者・医療従事者・看護スタッフ
- 参加費：無料
- 申し込み：秋田県看護協会ホームページよりダウンロードし、平成31年1月11日(金)までに秋田県ナースセンターへ直接お申し込みください。

編集
後記

今年の夏は金足農業の躍進で熱く盛り上がりましたね。記録的な猛暑が続きましたが次第に暑さも和らぎ過ごしやすくなりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。今年度から広報委員のメンバーに加わりました。皆様に少しでも興味を持って読んでいただけるような「看護あきた」をお届けしたいと思っております。皆様のご意見・ご感想お待ちしております。

(記：広報委員 小貫 孝輔)